

美郷がいちばん、すきです美郷

2

1億4000万円以上の波及効果

みさと 議会だより

費用弁償廃止・改革に終わりなし



よい年になるよう願って
(みさぽーとでのしめ飾りづくり)

定例会のあらまし	2
議案質疑	4
一般質問	6
所管事務調査	12
住民と議会との懇談会	16
キラリ美郷人	20



住宅リフォーム緊急補助事業

1億4,000万円以上の波及効果

12月定例会を、12月11日から14日までの4日間の会期で開きました▼審議した議案は、平成24年度一般会計補正予算や議会議員の費用弁償条例の一部改正など24議案▼そのすべてを、原案のとおり可決・同意・承認しました▼また、一般質問は5議員が登壇して町政をただし、陳情7件を採択、3件を趣旨採択、1件を不採択としました。

今 定例会では、平成24年度一般会計の『住宅リフォーム緊急支援事業』に200万円を追加し、総額を1400万円としました。

こ の事業は、県の住宅リフォーム緊急支援事業とは別に平成23年度から町が単独でおこない、町内事業者による住宅リフォーム工事額の10%で最大10万円を補助します。また、県の補助事業との併用も可能な制度です。

事 業効果として、町民の住環境の向上と住宅投資による町内住宅関連産業の活性化が期待され、平成24年度当初予算では800万円を計上しました。しかし予測より申

請者数が増え、9月定例会で400万円を追加し今回で2回目の追加補正です。これにより、この事業での町内住宅関連産業への波及効果は1億4000万円以上が見込まれます。

そ の他の一般会計補正予算の主な内容は、昨年度冬の厳寒気象で発生した凍上災(注1)の道路災害復旧費1億2069万4千円や、認知症高齢者グループホームなどへの国・県補助金4709万7千円など。歳入・歳出それぞれに2億2314万3千円を追加し、一般会計予算総額を117億856万4千円としました。

費用弁償廃止

改革に終わりなし

そ の他、今定例会で『議員発議(注2)』は議員発議(注2)で議会運営委員会と議会広報特別委員会の費用弁償(注3)を廃止する条例改正案を全員賛成で可決しました。

年頭のあいさつ



美郷町議会議長
高橋 猛

新年明けましておめでとうございます。昨行われた師走の総選挙で国民は再び自民党政権に大きく舵を切り替えました。政権が変わるといふ事は政策も変わる事にもなる訳ですが、

地方自治を担う私共からしますと、かつて自民党政権時代に制定された「地方分権一括法」また、前政権ですすめら

れた「地域主権改革」における地方重視の政策は引き続き継続して頂きたいと思っております。

とりわけ強く要望したい事は財源の確保、地方交付税の安定確保であります。小泉内閣で行われた三位一体改革で地方交付税、国庫補助金が大幅に削減され財源確保に対する不安から平成の大合併が進められました。地方はそれ

も健全な財政運営に向けて随分汗を流して来ておりますが、財源の大半を国に頼らざるを得ない状況は続くと思っております。交付税の理念は「国に納められた税金を自主財源の少ない自治体に手厚く交付する事によって均衡ある国土の発展を期する」事でありました。地方重視の政策を願うものです。

ところで私共も昨年、議会活性化検討会を立ち上げ時代に即応した議会のあり方について議論を重ねているところです。何かと先行き不透明な時代ではあります。本年が皆様にとりましてより良い年となりますよう祈念し挨拶いたします。

議会

議員の費用弁償に關しては、在任特例後の改選議会で『議会改革議会全員協議会』を立ち上げ改革の一つとして検討しました。結果、平成19年3月定例会で本会議と常任委員会出席分の費用弁償を廃止し、議会運営委員会と議会広報特別委員会はその労務を勘案して条例に残しました。

一方、議会改革に關しては議員定数を18人とした平成21年度以降も引き続き『議会意見交換会』の場で協議し「改革に終わりなし」の考えで平成23年12月に『議会活性化検討会』を新たに立ち上げました。存続した費用弁償も改めて検討し、一部の委員会にだけ支給するのは整合性に欠けるとの意見で集約しました。

の条例改正は平成25年4月1日から適用され、年間で45万5千円ほどの経費削減となります。



(注2) 議員発議：議員が議案を議会に提出して審議を求めること

(注3) 費用弁償：地方議会の議員が議会、委員会などに出席したときに自治体から支払われる旅費

(注1) 凍上災：冬季の異常低温が原因で道路舗装面にひび割れなどが発生する災害

町三役の給与を引き続き減額

議会最終日の12月14日、初日に承認・同意した案件以外の議案について質疑・討論・採決しました。以下、主な質疑の内容を要約してお伝えします。

町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正

〔内容〕平成22年度に施行しこれまで継続してきた、町長の給与を月額2万円、副町長の給与を月額1万円引き下げる条例改正を引き続き継続する一部改正です。

町長

武藤議員 教育長の減額議案も同じ内容だが、減額の算定根拠を聞く。
総務課長 平成22年度の人事院勧告で職員の給与が下がり、それを勘案した額だ。

平成24年度一般会計補正予算

町の考えの変更か

吉野議員 これまで木造公営住宅の雪下ろしは住む方の自己責任でおこなっていた。今回、雪下ろし経費を補正するが町の考え方が変わったのか。
建設課長 昨年と一昨年の豪雪時、住宅の構造で入居者の負担の度合いが違い、また、平屋と二階建てでは安全性も違っていた。今回、県の住宅と同じような管理に改めた。

6月末以降に工事

戸澤議員 凍上災に認定され、繰越明許費(注1)となった道路工事の発注時期と工事期間を聞く。

建設課長 発注は3月だが、工期は気温が確保でき農作業に支障のない6月末か7月上旬を予定している。

調査内容は

飛澤議員 六郷地区の民地にある消火栓の調査費額が思ったより少ないが、どんな調査をするのか。
住民生活課長 現在、敷設位置など不明な点が多いのでそれらを調査し、併せて改善方法も調査する。

平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算

全町一律にしては

深澤(均)議員 今回の施設

管理費の補正は、冬期間の水道料金徴収方法が変わるためと説明したが詳しい内容を聞く。
建設課長 これまで、冬期間はメーター検針ができず基本料金だけを徴収し、4月で残りを一括精算していた。しかし加入者から均一な負担の要望があり、前年度の平均使用料金を徴収して4月に精算する方法も採用し、加入者の選択制とするための予算だ。

深澤(均)議員 使用料金の平準化は町民にとってプラスで料金の滞納防止にもつながる。選択制ではなく、全町一律実施がいいのではないか。
建設課長 仮の料金を徴収するためには、加入者の同意がなければ実施できない。



人事

〔監査委員の選任〕委員の任期満了に伴い、次の方々の選任に同意しました。



再任 久米 力氏 (後三年)

〔教育委員会委員の選任〕委員の任期満了に伴い、次の方々の選任に同意しました。



再任 佐藤 孝氏 (天神堂)



再任 高井 真純氏 (琴平)

〔選挙管理委員会委員の選任〕委員の任期満了に伴い、次の方々の選任に同意しました。



再任 田沢 徹氏 (一丈木)



再任 鈴木 喜美夫氏 (土崎南部)



再任 黒川 奥子氏 (東高方町)



新任 鈴木 直保氏 (上野荒町)

第9回議会臨時会提出議案一覧 (11/2)

議案第81号	平成24年度一般会計補正予算第7号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第82号	平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算第3号	〈全員賛成で原案可決〉

第10回議会定例会提出議案一覧 (12/11~14)

承認第4号	専決処分事項の承認(平成24年度一般会計補正予算第8号)	〈全員賛成で原案承認〉
同意第1号	監査委員の選任につき同意を求める	〈全員賛成で原案同意〉
同意第2号	教育委員会委員の任命につき同意を求める	〈全員賛成で原案同意〉
同意第3号	教育委員会委員の任命につき同意を求める	〈全員賛成で原案同意〉
議案第83号	秋田県町村電算システム共同事業組合の設立	〈全員賛成で原案可決〉
議案第84号	町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正	〈全員賛成で原案可決〉
議案第85号	教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正	〈全員賛成で原案可決〉
議案第86号	農業集落排水施設の使用及び管理に関する条例の一部改正	〈全員賛成で原案可決〉
議案第87号	指定管理者の指定	〈全員賛成で原案可決〉
議案第88号	平成24年度一般会計補正予算第9号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第89号	平成24年度国民健康保険特別会計補正予算第3号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第90号	平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算第4号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第91号	平成24年度下水道事業特別会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第92号	平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第93号	平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
発議第5号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び議会広報の発行に関する条例の一部改正	〈全員賛成で原案可決〉
発議第6号	議会委員会条例の一部改正	〈全員賛成で原案可決〉
発議第7号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出	〈全員賛成で原案可決〉
発議第8号	地域経済と雇用対策強化のため地方財政の充実・強化を求める意見書の提出	〈全員賛成で原案可決〉
発議第9号	オスプレイの配備と秋田県上空での飛行撤回を求める意見書の提出	〈全員賛成で原案可決〉
発議第10号	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出	〈全員賛成で原案可決〉
発議第11号	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書の提出	〈全員賛成で原案可決〉
発議第12号	「教育費無償化」の前進を求める意見書の提出	〈全員賛成で原案可決〉
発議第13号	「ゆきとどいた教育」の前進を求める意見書の提出	〈全員賛成で原案可決〉

〔注1〕繰越明許費：年度内に支出を完了できない予算について議会の議決を経て翌年度に繰り越し使用すること

一般質問

5議員が

11項目を質す

質問者

森元 淑雄 議員

- ◇「生薬の里」美郷構想について・・・掲載
- ◇薬樹園（平場の森）計画の概要について・・・掲載
- ◆公共施設及び学校再編計画について
質問）空き校舎となる各学校のグラウンド活用計画を聞く。
答弁）活用計画が決定した学校はその活用の中で利用し、企業進出を公募している学校はその企業の意向を聞いてからの計画策定だ。

杉澤 隆一 議員

- ◇安全で安心のまちづくりについて・・・掲載
- ◇資料館の特色に「水の町」美郷を体感できる空間の設置について・・・掲載

中村 利昭 議員

- ◇美郷町活性化プロジェクトについて・・・掲載
- ◇本庁舎の建設について・・・掲載

泉 美和子 議員

- ◇国保広域化について・・・掲載
- ◇いじめ問題について・・・掲載

深澤 均 議員

- ◇冬の災害について・・・掲載
- ◇復興税の使い道について・・・掲載

薬樹園計画のコンセプトは 町長「平場の森の公園整備だ」



森元 淑雄 議員

町長 ①既存の桜の木を生かしながら、地域の方々が憩う場としての平場の森の公園整備をコンセプトとし、誰もが気軽に訪れることができる公園としたい。また「生薬の里」美郷構想のシンボリックな役割として薬用効果のある樹木を植栽し、薬効などを記載した解説板の設置など、薬樹園としての一面を併せ持つ施設として整備したい。

議員 ①薬樹園計画の概要とコンセプトは何か。 ②計画のスケジューリングはどのようになっているか。 ③薬樹園として整備する場合、グラウンドの代替は旧千畑中学校野球場とのことだが、その整備計画は。

②25年度に具体内容を詰め、26年度以降に下地を整備し、その後、一定時間をかけ植栽したい。 ③500歳野球の基準に沿った外野ネットとバックネットを設置し、来年の4月後半に使用できるようにしたい。

「生薬の里」構想の内容は

議員 農家の複合経営を促進し、所得向上が期待できるとしている「生薬の里」美郷構想についてたずねる。 ①栽培作物は甘草と、それ以外は何か。 ②栽培作物の種子の調達方法は。 ③栽培作物のコストおよび販売価格の概要は。 ④自己保全管理田で栽培する場合、転作田としての位置づけは。

町長 ①平成25年度実施で甘草の栽培を検討しているが、現段階で、それ以外は今後の



薬樹園として整備される千畑南小学校

調整となっている。 ②株式会社金井藤吉商店より調達する。 ③試験栽培の結果を踏まえてのことなので、現時点では明確に答えられない。

④現行制度で、水田活用所得補償交付金の対象作物とすることが可能であり、本格栽培の際にそうした位置づけを考えていきたい。

『いじめ防止条例』の制定を 町長「現場と意見交換し検討する」



杉澤 隆一 議員

議員 全国的に増加傾向にある『いじめ』防止に積極的に取り組み、町が目指す『安全で安心できる町づくり』を一層推進すべきだ。

考え、次の3点について聞く。
①各園や学校での『いじめ』の現状
②町がこれまでおこなってきた『いじめ』に関する対策や指導
③『いじめ』に関する条例を策定している自治体ができていることに対する町の見解

なく、町の現状も差し迫って条例を制定する状態に至っていないと考えるが、教育現場と意見を交わして検討したい。

は千屋小学校にあり、来年度から県立大学との連携で美郷中学校にも整備する予定だ。そのため、千屋小学校敷地内へのピオトープ整備は考えていない。

千屋南小に ピオトープを

まちづくりについての町民満足度アンケートの『青少年健全育成・防犯の推進』では、平成19年度68・8%の数値が平成21年度87・4%と伸びを見せ、さらに24年8月の速報では93・5%でほぼ心配のない状態だ。しかし『いじめ』は、いつどこで起きてもおかしくない昨今だ。

『水環境保全条例』が、町民の水環境に関する意識向上につながったと感じている。『いじめ』も同様に、町民誰もが「いじめのない町」「いじめを許さない」という意識を持つ事が防止につながると

議員 千屋南小学校を活用して設置される『資料館』に、水の町にふさわしいコーナーを設けたイバラトミヨの展示と、築山や池を利用したピオトープの設置を提案する。

『水環境保全条例』が、町民の水環境に関する意識向上につながったと感じている。『いじめ』も同様に、町民誰もが「いじめのない町」「いじめを許さない」という意識を持つ事が防止につながると

町長 ③県内でいじめに特化した条例を策定した自治体は

町長 町では、名水市場湧太郎に『水文館』を設置しており、清水の歴史や地下水のしくみ、ハリザッコの生態も学ぶことができる。また、生態学習の場としてのピオトープ



千屋小学校のピオトープ

農業宿泊施設は道の駅周辺に 町長「仙南東小学校で変わらない」



宿泊交流施設として生まれ変わる仙南東小学校

議員 空き校舎活用による町の活性化プロジェクトとして、これまで仙南東小学校を対象に議会と共に検討してきた農業宿泊施設利用が、11月後半に急に内容が変わった計画案で示された。これは、県との『秋田未来づくりプロジェクト』にタイアップしたアドバタイザーによる計画変更と思う。民族資料館や歴史・文化を活用した取り組みをするとあ

るが、このような施設なら現在改装中の後三年駅にも近く連日人の集まりやすい『道の駅』周辺にすべきだ。もしも『道の駅』周辺なら、町は横手市と後三年の合戦に開く交流連携協定書を取り交わしており、また横手市『後三年の役金沢資料館』の展示物も半分ほどが展示されてい

その結果、仙南東小学校は公民館や総合体育館などとの連携により活用幅の拡大が期待できるとし宿泊交流施設とした。農業体験などを視野に入れた宿泊交流施設計画には何ら変更もなく、今後、町内の農家民泊施設と連携を図りながら協議を進めていく。後三年駅は、駅舎に町のギヤラリーが併設され12月22日オープンする。ギヤラリーでは、町の観光PRコーナーを設けて情報発信していく。

町長 まちづくりの拠点として、役場庁舎の役割は大きいと認識している。しかし公共施設の再編で、財政の効率化の観点から無駄な投資を避け使えるものは使い切り、大きい施設を活用する方針で計画策定した。

町長 空き校舎の活用については、平成22年5月に設置した『学校再編による空き施設等活用住民検討委員会』で検討し、議員の意見と町民のパブリックコメントなどを踏まえて決定した。

町長 空き校舎の活用については、平成22年5月に設置した『学校再編による空き施設等活用住民検討委員会』で検討し、議員の意見と町民のパブリックコメントなどを踏まえて決定した。

現在の役場庁舎は平成3年の建築で、まだまだ耐用年数がある頑丈な建物だ。また、私が遠い将来のことを明示するのは無責任発言となり、本庁舎の建設に言及する時期ではない。

現在の役場庁舎は平成3年の建築で、まだまだ耐用年数がある頑丈な建物だ。また、私が遠い将来のことを明示するのは無責任発言となり、本庁舎の建設に言及する時期ではない。

新庁舎・建設場所の 明示を

議員 合併して8年が過ぎ、旧3町村の地区もそれぞれに改善された。しかし、本庁舎



泉 美和子 議員

新年度国保税の軽減を 町長「現時点で言及できなない」

議員 国保財政の都道府県単
位化や定率国庫負担の削減な
どを盛り込んだ「国保法改定
案」が4月に成立し、201
5年から施行される。
これは古い国保行政を一層
強化する路線と考えるが、国
保広域化についての見解を聞
く。

また、町の国保行政と町民
への影響についてはどう考え
ているのか。さらに、新年度
の国保税の負担軽減を求める。
町長 県内の国保保険者とし
て、平成22年に国民健康保険
の広域化に関わる取り組みの
ため『秋田国民健康保険事業
広域化研究会』を発足させ、
現状と課題や広域化に向けた
方向性などを整理して報告書
を作成している。しかし、法
律は改正されており地方公共

団体としては法に則した適切
な対応と事務推進をしていか
ざるを得ない。
国保行政と町民への影響は、
国からの交付金が減るが県か

らの交付金が同額程度増える
ので財政的には軽微と考える。
また、町民への直接的な影響
はないものと捉えている。
国保税の負担軽減は、平成

25年度の国の予算編成の動向
がはっきりしない現状では市
町村国保に対する歳入状況が
きわめて不透明で、さらに保
険税が被保険者の確定申告を
踏まえて本算定する仕組みで
あり、現時点では言及できな
い。

いじめの要因は

議員 子どものいじめ問題が
社会的に大きな問題となっ
ているが、その要因をどのよう
に考えているか。また教員の
多忙化の現状認識と対応を聞
く。

教育長 いじめの要因として
は、インターネットでのいじ
めなど子どもたちの環境が急
変していることが要因の一つ



受診率が上がった早朝総合健診

議員 町は本年、東日本大震
災を教訓に防災計画を見直し、
積雪期の地震災害などを想定
した対策を確立する必要がある
としていますが、その災害想
定と対策について聞く。

① 昨年の3・11では町でも給
水車対応し、寒い中、給水を
待つ長い列ができた。現在、
千畑南小体育館に屋内運動場
を計画しているが、災害時に
屋内で給水対応できるような車
両の出入りを可能にすべきだ。
② 荒川・四ツ屋・七滝地域は、
積雪期に県道花巻・大曲線だ
けの往来となり、地震による
雪崩などで孤立する可能性が
あるがその対応は。
③ 積雪期の、救援ヘリやドク
ターヘリの着陸ポイント確保
はできているか。また、町内
に何箇所想定しているか。

④ 避難所になる体育館などの
暖房は確保できているか。

町長 ①千畑南小の体育館改
修は、当初フロアを撤去して
の屋内グラウンドだったが、
施設使用中に舞い上がる土埃
での健康への影響や管理上の
問題を考慮し、現在のアリー
ナに人工芝を張りつけての活
用を検討しているので、ご提
案のような改修は考えていな
い。
②妻の神地区が県の雪崩危険
箇所に指定され、県と町で年

1回確認点検している。今後
も、国や県と連携を図り定期
的なパトロールに努める。
③町内では、県指定で3カ所、
町指定で9カ所の臨時ヘリポ
ートを指定している。また降
雪時は、緊急搬送が容易な幹
線道路沿いに8カ所指定して
いる。
④指定避難所となっている町
内11カ所の体育館などには、
29台の移動式発電機で電源を
確保し、反射式石油ストーブ
を主体とした器具で暖房を確
保している。また、暖房器具

の台数は不足と認識しており、
今後、適正な台数確保に年次
計画で取り組んでいく。

復興税を安全・安 心の確保に

議員 復興税の趣旨は、防災
や減災のための施策財源と理
解する。町は、防災無線など
の維持管理費に充てる考えだ
が税の趣旨に馴染まない。町
民の安全・安心を確保する施
策に使うべきだ。

町長 復興税は、秋田県総合
防災情報システムの整備や消
防用緊急デジタル無線の整備
耐震性貯水槽の設置や防災備
蓄品の更新などさまざまな防
災設備、防災施設の充実に対
応するための経費となる。

避難所の暖房確保は万全か 町長「台数確保に取り組む」



深澤 均 議員



東日本大震災での給水車対応

財政改善のさらなる 取り組みを

町の財政状況と今後の見通し

町の財政状況と今後の見通しについて、企画財政課職員から説明を受けました。

平成26年度で普通交付税の合併算定替（注2）が終了し、段階的に5年間で一本算定（注3）に移行します。推計する平成32年度の普通交付税額は、平成24年度と比較して11億円ほど減少し46億8888万円の見込みです。

■調査意見

平成23年度一般会計決算の財政状況では、経常収支比率（注4）が平成22年度の86・4%から88・2%に上昇した。

理由は、社会保障費の増加と臨時財政対策債を借入しないためとしたが、仮に臨時財政対策債を全額借入しても82・8%となる。

一般的に町村にあつては、経常収支比率が75%を超える

と注意を要するとされる。今後も、財政改善のさらなる取り組みと将来の財政規模を見据えた財政運営が必要と考え

秋田県電算システム 共同化事業

県町村会では、これまで電算システムに関わる経費の削減を検討してきました。そして、本年2月21日の町村会理

事会で『秋田県町村電算化基本方針』に県内12町村が合意し、現在、費用の削減と住民への還元を目的とした電算システムの共同化が進められています。

調査にあつては、企画財政課の職員から『秋田県町村電算化システム共同事業』の概要と費用負担の内容、また、運用にあたる一部事務組合の組織内容と町の電算システムの移行計画などについて説明を受けました。

■調査意見

個人情報保護やセキュリティ対策に万全を期すことは当然だが、取り扱う職員の意識も重要だ。また、すべてが

総務常任委員会は、11月16日委員会を開催し、9月7日開催の第8回議会定例会で付託された閉会中の所管事務調査（注1）を実施しました。その概要と意見内容を要約し掲載します。

標準でつくられることから、リスクの回避や発生した危機への対処の確立が重要と考え

（注1）所管事務調査… 常任委員会が担当する事務事業について調査すること

（注2）合併算定替… 合併前の市町村ごとに算定した普通交付税の総額がそのまま配分されること

（注3）一本算定… 合併算定替の配分額ではなく、純粋に一つの自治体として算定されること

（注4）経常収支比率… 地方公共団体の財政構造の弾力性を測る比率



総務常任委員会の審査

放課後児童クラブ 安全な運営を望む

教育民生常任委員会は、10月18日委員会を開催し、9月7日開催の第8回議会定例会で付託された閉会中の所管事務調査を実施しました。その概要と意見内容を要約し掲載します。

学童保育の現状と将来構想

放課後児童クラブは千畑、六郷、仙南の各地区にあります。原則1〜3年生で放課後に家に帰っても家族がいない児童が利用対象です。町の総児童数は年々減少しています。放課後児童クラブの登録利用者数は増加傾向です。

■調査意見

各地区とも、学校近くに充実した専用施設が整備されつつある。保護者の仕事と子育ての両立、児童の安心が図られるよう安全な運営を望む。

学校教育施設の改修状況

六郷地区認定こども園の新築工事と、千屋小学校・旧仙南中学校の改修工事の内容説明と現地調査をおこない、順調に進捗していることを確認しました。

■調査意見

認定こども園は、秋田の木を利用した公共施設等整備事業の補助対象になり、木造特有のぬくもりを感じさせる施設であった。

今後予定される外構工事では、不要物の撤去などに配慮した整備を望む。

通学バスの運行

美郷中学校の通学バスは、夏期6km、冬期4km以上の生徒を対象に、登校時は1回、下校時は午後5時と7時の2回運行しています。また、野球部員の学校と野球場間や、夏・冬休みの部活動時の登校

■調査意見

美郷中学校の通学バスは利用率が高く、保護者・中学生に理解され受け入れられている。小学校の通学バス運行でも、保護者や地域に理解を深めていただくよう対応を望む。

介護福祉施設の制度と介護保険サービス

介護福祉施設の制度と介護保険サービスについて、福祉保健課担当職員の説明を受けました。

■調査意見

多様な高齢者福祉施設がいろいろなニーズに対処しており、今後も円滑なサービス提供や在宅介護者への支援拡充を望む。



わくわく園の新築工事現場

「清水川遊歩道」 周辺整備の検討を

清水川遊歩道の状況
平成24年度工事発注状況

カントリーパークの利用状況

産業建設常任委員会は、11月7日委員会を開催し、9月7日開催の第8回議会定例会で付託された閉会中の所管事務調査を実施しました。その概要と意見内容を要約し掲載します。

- ◆測量調査設計業務費 262万5千円
- ◆用地取得費 115万7715円
- ◆整備工事費 624万7500円
- ◆発注件数 56件
- ◆予定価格合計 3億6433万600円
- ◆当初契約額合計 3億5126万7729円
- ◆落札率 96・4%

◆調査意見
砕石舗装の遊歩道や木造の東屋ともに良く整備されており、今後利用者の増加が見込まれる。しかし、付近に景観を損なうような倒壊物があり整備されたい。また、周辺道路の整備と駐車スペースの確保、ホームページの掲載や案内看板の設置などを検討されたい。

◆調査意見
11月1日現在で56件が発注され、44件が竣工した。大きなトラブルもなく計画どおり施工されている。今後も信頼性や品質を損なうことなく管理監督されたい。

カントリーパーク野球場の利用実績
(平成24年4月～10月) (単位：人)

月別	4	5	6	7	8	9	10
利用者数	0	15	391	232	240	260	0

◆調査意見
野球場の他には、野外ステージ利用が1件あった。複数

堆肥センターの運営と施設管理状況
◆売上実績の推移
平成21年度 1953万7353円
平成22年度 2094万6658円
平成23年度 2303万1514円
町の支援効果により販売数



産業建設常任委員会の現場視察

請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

- 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保、充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について〔全員賛成〕
全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一穂
- 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書〔全員賛成〕
秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也
- 介護職員処遇改善加算の継続・拡充を求める陳情書〔全員賛成〕
秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也
- 「教育費無償化」の前進を求める陳情書〔全員賛成〕
秋田県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 沼田 敏明
- 「ゆきとどいた教育」の前進を求める陳情書〔全員賛成〕
秋田県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 沼田 敏明
- 地球経済と雇用対策強化のため地方財政の充実・強化も求める意見書採択に関する陳情書〔全員賛成〕
連合秋田大曲地域協議会 議長 佐々木 郁馬
- オスプレイ配備と秋田県上空での飛行撤回を求める陳情〔全員賛成〕
秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也

不採択としました

- 消費税増税に関する意見書の提出について 秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲
- 〔不採択意見〕
森元議員
この陳情内容では、社会保障費を支える財源根拠が抽象的なので反対だ。

〔採択意見〕
武藤議員
景気低迷時の増税は、益々景気を悪化させることになり、採択すべきだ。

〔総務常任委員長報告〕
福田委員長
将来の社会保障制度を考えると消費税増税はやむを得ず不採択とする。

不採択15人：採択2人〔武藤議員・泉（美）議員〕で不採択

趣旨採択としました

- 国に生活保護基準の引き下げをしないことを求める陳情書
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳
- 教育民生常任委員長報告
熊谷（良）委員長
地域により、最低賃金生活の方が生活保護費より低い場合があるなど不公平感があるので、趣旨採択とする。
- 採択意見
泉（美）議員
保護基準の引き下げは、各種制度に大きな影響を与え、国民生活全体を悪化させることになるので、採択すべきだ。
- 年金2・5%削減中止を求める意見書の提出を求める陳情
全日本年金者組合秋田県本部 大曲支部執行委員長 石渡 志夫
- 教育民生常任委員長報告
熊谷（良）委員長
すでに国会で決定されており、願意は理解するが実効性が確保できないので趣旨採択とする。
- 採択意見
泉（美）議員
年金は年々下がっており、これ以上の引き下げは高齢者だけでなく若い世代にも影響するので採択すべきだ。
- 学校図書館に「学校司書」の配置を求める陳情書
図書館ボランティア「紙ひこうき」代表 木村とも子
わくわくおはなし「夢ふうせん」代表 河西利江
おはなしの会「しゃぼんだま」代表 佐藤 睦子
- 教育民生常任委員長報告
熊谷（良）委員長
現状でも機能を果たしているので趣旨採択とする。
- 採択意見
泉（美）議員
子どもたちの読書環境をより充実させるために採択すべきだ。

趣旨採択15人：採択2人（武藤議員、泉（美）議員）で趣旨採択

通学路への 安全対策を望む

11月19・20・21日の3日間にわたり、町内9会場で開催した「住民と議会との懇談会」の内容を報告します。

今回で10回目の開催となった「住民と議会との懇談会」には、町民55人の方の参加をいただき活発な意見交換をしました。

場です話し合った内容を確認して町への要望書を提出し、12月21日に回答を受けました。以下、主な町への提言・要望とその回答を要約し掲載します。

住民 畑屋高野・鎗田馬町線の拡幅工事により、車が以前より速い速度で通行する。通学路なので、安全地帯や標識設置などの安全対策を講じて欲しい。

河川愛護活動への保険適用を
住民 河川愛護活動での草刈り作業は危険も伴う。町の保険適用を望む。

回答 町では河川愛護活動支援として補助金を交付しており、保険加入は各団体で対応していただきたい。

アーチの撤去を

住民 町道下畑屋外川原線大柳地内にある交通安全啓発活動に使用されているアーチが腐食による倒壊や落雪など危険な状況だ。利用計画がなければ撤去できないか。

回答 現場を確認したところ、アーチ基礎部分の鉄骨に若干の腐食が見られるので撤去する。

住民 鎗田馬町・沢田線と野中・筑後屋敷線との交差点は、美郷中学校の開校で交通量が増えている。加えて、新しくわく園舎の開園などもあり信号機の設置など早急な交通安全対策を望む。

住民 町道赤城・扇田線の扇田T字路に横断歩道などの安全対策を望む。

回答 横断歩道や信号機設置・道路規制などは、大仙警察署を経由して県交通安全委員会が実施するもので、いずれの交差点についても安全対策への要望をしておき、今後とも強く要望していく。また、学校統合による通学路変更を踏まえ、町としても交通安全対策に取り組んでいく。



塚自治会館での懇談会

公衆トイレに発電機を

住民 震災時、停電のため水が使えずトイレに困った。町には公衆トイレがあるので発電機を設置して対応できないか。

回答 町では、災害発生時の対応として震度4以上の地震や広域な停電の際に一次避難

所を設置開設し、被害状況によっては二次避難所も設置開設することになっている。

限りある発電機なので、避難所に優先して配置したいと考えている。

上水道への助成は

住民 会館への上水道接続を検討しているが助成制度はあるか。

回答 上水道への接続など、集会施設の改修費用が30万円以上要する場合は、3分の1以内の額で地域活動拠点整備事業費補助金を活用することができる。また、下水道への接続については、特例として30万円未満でも3分の2以内の額を交付する。

臨機応変な散水を

住民 六郷地区の消雪道路は、夜間だけの散水で日中水が出ない。状況に応じ、臨機応変に散水してほしい。

回答 中央通り線の散水については、降雪量に見合った散水の希望がある一方、歩行者などから日中の散水中止を求められている。また、水源が地下水使用のため家庭用水に影響がでないよう配慮しておりご理解いただきたい。

防災行政無線の有効利用を

住民 防災行政無線を、学童の帰宅安全対策など色々な方面で有効利用できないか。

回答 防災行政無線の放送は、災害情報や住民の生命に関わる緊急重要事項、気象警報な

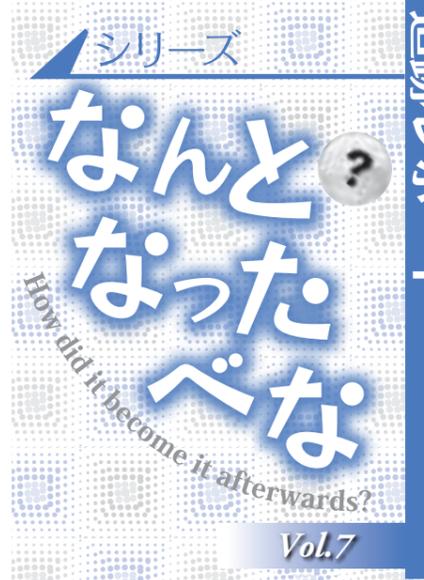
ど町民全員を対象として運用しており、ご理解願いたい。



緊急重要事項を伝える防災行政無線



六郷地区の消雪道路



子どもたちに 安全な 通学路を

「住民と議会との懇談会」で提案された意見や要望が町に伝えられ、その後まちづくりにどう活かされたかを追跡レポートします。

住民 新生美郷中学校の開校と、幼稚園・保育園が開園するのでもっと安全な通学路を整備してほしい。

平成23年開催の「住民と議会との懇談会」より

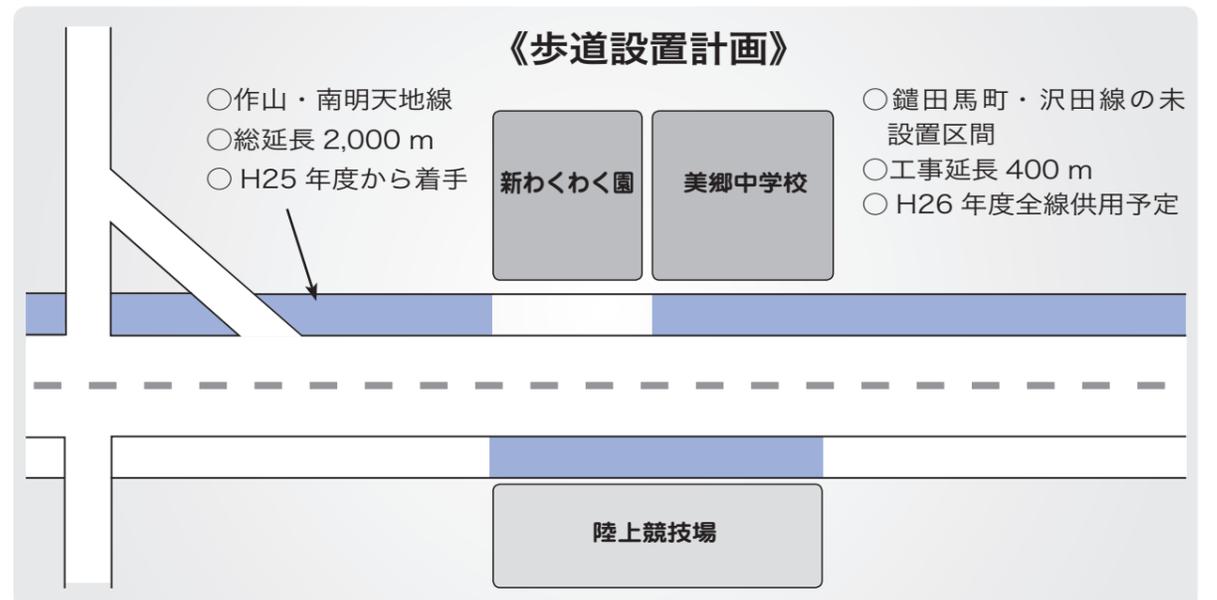
3月定例会で、歩道を設置する調査設計業務委託予算案を全員賛成で可決しました。
また、美郷町総合計画(道路整備計画)に新たな歩道計画を盛り込みました。

・中学校の南北の道路に幅員2.5mの歩道を設置します。
・通学路の危険箇所には防犯灯を設置します。

《歩道設置計画》

- 作山・南明天地線
- 総延長 2,000 m
- H25年度から着手

- 鑓田馬町・沢田線の未設置区間
- 工事延長 400 m
- H26年度全線供用予定



全国町村議会広報研修会

手ごつって読んでもらえる 広報づくりを目指して

10月29・30日、東京の砂防会館で第77回町村議会広報研修会が開かれ、議会広報特別委員会の委員6人が参加しました。

1日目は、
①議会広報「誌」は本当に必要か

②議会広報の企画・編集・今まで見られた紙面を変える
③議会広報誌の写真の撮影方法と表現方法
などの講義を受けました。

2日目は分科会で、広報コンサルタントの深沢徹氏から7町村の議会広報に対する講評がありました。

講評内容は、
①ありのままの「議事公開」



と住民と共に歩む広報づくり
②分かりやすい記事と見出し
③読みやすい紙面づくり
などの観点から、それぞれの議会広報の優れている点や検討・改善したい点などを具体的に評価・指導するもので、大変参考になりました。
今後、手にとって読んでもらえる広報づくりに努力していきたいと思えます。

第9回臨時会

簡易水道の緊急接続に 900万円を追加

11月2日、第9回臨時会を開催し平成24年度一般会計と平成24年度簡易水道事業特別会計の歳入・歳出それぞれに900万円を追加しました。
これは、8月以降の干ばつにより畑屋地区簡易水道の水源地の水位が低下し、水道水の安定供給を図るため緊急的に隣接する六郷東部地区簡易水道を接続するために措置した、それぞれの繰出・繰入金の補正です。
この補正で、平成24年度一般会計予算の総額は114億7242万8千円、平成24年度簡易水道事業特別会計予算の総額は4億3021万3千円となりました。

みさと議会だより 第33号 クイズ

★クイズ回答

【問1】平成23年度決算での実質公債費比率は〇〇.〇%

【回答】12.8

【問2】第10回住民と議会との懇談会は、11月〇〇.〇〇日

【回答】19・20・21

◎クイズ当選者

抽選の結果、次の方が当選しました。
継田 優子 様 坂本 博明 様
藤井 カツ 様



おはよう野球で優勝が決まった瞬間

シリーズ キラリ美郷人 vol.29

仲間を信じ 「絶対勝つぞ」 千屋ジョーカーズ



野球好きな仲間たち

第43回全県おはよう野球大会が、10月6日から3日間の日程で秋田市を会場に開催されました。県内各地区予選を勝ち抜いてきた14チームが全県一の座を競い、最終日の決勝戦では千屋ジョーカーズが河辺風薇我沙（カワベフアラワーズ）を3対1で退けて3年ぶり2度目の優勝に輝きました。

昨年度、準決勝で1点差に泣いた千屋ジョーカーズを再び盛り立て、この大会での優勝を公言して有言実行を貫いた藤嶋忍監督にお話をうかがいました。

—今回優勝できた理由は—
「勝つ野球には何が必要なの

か。みんなで腹を割って話し合った結果、体力、精神面、技術面の全てが不足していたとの結論に至りました。1月から毎週日曜日に各自が勝つ野球をテーマに練習した結果、絶対絶命のピンチになった時でも、個々のメンタル面が強くなり優勝できたと思います」

—チームの強みは—
「センターラインと二遊間コンビはどのチームにも負けないと自負しています。また、チームの団結力や選手を支える家族の全面協力が一番の強みとっております。

「今後の目標は—
家族には本当に感謝しています」

「今年の優勝がフロックと言われないよう、連覇を目指します。また、高松宮杯や東日本大会などでも優秀な成績を残したいです」

選手を信じ、また、選手から絶対の信頼を寄せられている藤嶋監督。チームの絆と家族の支え合いに感謝し、これからも野球が大好きな仲間と共に、さらに頂上（てっぺん）を目指している姿勢に感銘しました。

クイズ

問1 住宅リフォーム事業への波及効果は、○億○,000万円以上

問2 町議会議員の○○○○廃止

…○に入る言葉や数字などをお答えください…

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成25年2月15日（当日消印有効）

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。
傍聴をお待ちしております。